

岩手県立平館高等学校

昭和23年岩手県立沼宮内高等学校平館分校（定時制）として発足
昭和24年全日制定時制を併設し、岩手県立平館高等学校として独立

〒020-7405 岩手県八幡平市平館 25 地割 6 番地
電話 (0195)74-2610 FAX (0195)74-2290 (事務室)
最寄駅：JR 花輪線 平館駅
ホームページ：<http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/index.html>
校長 太田 優子



1 設置学科および在籍数（平成30年5月1日現在）

課程	学科名	設置年度	1学年	2学年	3学年	全体	
全日制	普通科	昭和24年	48	54	53	155	217
全日制	家政科学科	昭和62年	24	15	23	62	

注) 昭和38年に家政科が設置され、昭和62年に家政科学科に変更された。

2 本校の目指す生徒像 ～校訓「開拓者精神」～

- (1) 自分も他人も大切にする人
- (2) 自分で考え、努力する人
- (3) 何事にも積極的にチャレンジする人

3 平成31年度の入学者選抜方法について

(1) 平成31年度推薦入学者選抜

学校番号	学 校 名	課 程
13-1	平館高等学校	全日制

学科名	普通科	定員	40人
募集定員	10% (4人)		
推薦基準	<p>次の1～4の条件を満たした上で、5の条件のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者 2 基本的な生活習慣が身に付いている者 3 志願理由が明確かつ適切であり、入学後も意欲的に学校生活に臨む意志がある者 4 中学校3年間の欠席日数が原則として10日以下の者 5 次のいずれかに該当する者 <p>なお、(1)～(3)は応募資格Aに該当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 岩手県スポーツ特別強化指定を受けている本校の競技(相撲、スキー)を意欲的に継続しており、本校入学後も当該の部に所属して3年間その競技を継続する意志があり、活躍が期待される者 (2) (1)以外のスポーツ活動を意欲的に継続し、中学校体育連盟主催等の大会に主力として出場した活動歴があり、本校入学後も当該の部に所属して3年間その競技を継続する意志があり、活躍が期待される者 (野球競技においては、日本リトルシニア中学硬式野球協会、日本KWB野球連盟等が主催する大会を含む。サッカー競技においては、クラブユース連盟等が主催する大会を含む。陸上競技においては、特設陸上部等での活動や通信陸上競技大会を含む。) (3) 美術や吹奏楽等の文化・芸術活動において、各種大会や発表会、コンクールで活躍し、本校入学後も当該の部に所属して3年間その活動を継続する意志があり、活躍が期待される者 <p><本校にある部活動> 運動部：相撲部、スキー部、硬式野球部、サッカー部、山岳部、ソフトテニス部、卓球部、バスケットボール部、バレーボール部(女子)、陸上競技部 文化部：演劇部、家庭研究部(華道、茶道)、将棋部、吹奏楽部、美術部</p>		
検査内容	<p>○ 面接</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 1次(個人面接10分) (2) 2次(個人面接10分) 		
選抜方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 調査書(100点) 「各教科の学習の記録」(1・2・3年の9教科の評定の合計135点を100点に圧縮) 2 実績(100点) 調査書及び志願理由書に記載されている内容 3 面接(100点) <p><合計 300点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する</p>		
一次選考の有無	無		

学校番号	学 校 名	課 程
13-2	平館高等学校	全日制

学科名	家政科学科	定員	40人
募集定員	10% (4人)		
推薦基準	<p>次の1～4の条件を満たした上で、5の条件のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者 2 基本的な生活習慣が身に付いている者 3 志願理由が明確かつ適切であり、入学後も意欲的に学校生活に臨む意志がある者 4 中学校3年間の欠席日数が原則として10日以下の者 5 次のいずれかに該当する者 <p>なお、(1)～(3)は応募資格A、(4)は応募資格Bに該当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 岩手県スポーツ特別強化指定を受けている本校の競技(相撲、スキー)を意欲的に継続しており、本校入学後も当該の部に所属して3年間その競技を継続する意志があり、活躍が期待される者 (2) (1)以外のスポーツ活動を意欲的に継続し、中学校体育連盟主催等の大会に主力として出場した活動歴があり、本校入学後も当該の部に所属して3年間その競技を継続する意志があり、活躍が期待される者 (野球競技においては、日本リトルシニア中学硬式野球協会、日本KWB野球連盟等が主催する大会を含む。サッカー競技においては、クラブユース連盟等が主催する大会を含む。陸上競技においては、特設陸上部等での活動や通信陸上競技大会を含む。) (3) 美術や吹奏楽等の文化・芸術活動において、各種大会や発表会、コンクールで活躍し、本校入学後も当該の部に所属して3年間その活動を継続する意志があり、活躍が期待される者 (4) 食物・被服・保育など家庭の分野に興味・関心が高く、将来学習した内容を生かして進学または就職をしようとする強い意志のある者 <p><本校にある部活動> 運動部：相撲部、スキー部、硬式野球部、サッカー部、山岳部、ソフトテニス部、卓球部、バスケットボール部、バレーボール部(女子)、陸上競技部 文化部：演劇部、家庭研究部(華道、茶道)、将棋部、吹奏楽部、美術部</p>		
検査内容	○ 面接 (1) 1次(個人面接10分) (2) 2次(個人面接10分)		
選抜方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 調査書(100点) 「各教科の学習の記録」1・2・3年の9教科の評定の合計(ただし、技術・家庭のみ2倍とする)150点を100点に圧縮 2 実績(100点) 調査書及び志願理由書に記載されている内容 3 面接(100点) <p><合計 300点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する</p>		
一次選考の有無	無		

(2) 平成 31 年度一般入学者選抜

定員 (推薦合格者数を含む)	普通科 40名 家政科学科 40名	
各選考方法の割合	A (7)	B (3)
学力検査と調査書・面接の割合	5 : 5	3 : 7
適性検査・小論文・作文	実施しない	
傾斜配点	実施しない	

4 特色ある教育活動

(1) 学習活動

ア 普通科の内容

2 学年から 2 つのコースに分かれ、「就職主コース」では、普通科目の他に商業科目の簿記や商業技術等を、「進学主コース」では、大学・短大等への進学に向けた教科を学ぶことができます。

イ 家政科学科の内容

家庭に関する専門科目の学習をとおり、地域産業に寄与する人材を育成します。校内・外での実習など体験的な学習を多く取り入れることや、地域との連携を重視しています。ライフデザインコースは、情報や商業科目を履修し、福祉・販売・事務系の就職や保育・福祉系の進学に対応します。コミュニティデザインコースは、観光や食文化などの科目の履修などを通して郷土に貢献できる実践力を高め、地元企業・ホテルなどへの就職と観光系の進学に対応します。

ウ スキー授業の実施

地元のスキー場で実施され、それぞれのレベルに合わせてインストラクターの指導を受けます。

(2) 特別活動

ア 伝統と実績のある部活動

全員加入の部活動のうちでも、相撲部、スキー部は、県内大会はもちろんのこと全国大会などでも大いに活躍しています。サッカー部、野球部、ソフトテニス部などの運動部や吹奏楽部、美術部、家庭研究部、将棋部などの文化部も頑張っています。

イ 国際交流

平成 3 年から行っています。当初は、生徒を派遣するだけでしたが、平成 23 年度、28 年度はホームステイでの受け入れを含めた交流も実施しました。海外派遣は、平成 31 年度も実施を予定しています。英語力の向上のみならず、国際的な視野を広げることに役立っています。

ウ 活発なボランティア活動

家庭クラブが中心となり、昭和 39 年以来、地域の高齢者へのソバ殻入り紫薫枕(しくんまくら)の寄贈を行っています。山田高校や宮古北高校との被災地交流も行っています。

(3) 進路指導

ア 進学指導

各種外部模試の実施、課外や添削指導等により実力アップをはかっています。

最近の進学先は、岩手県立大学、岩手大学、都留文科大学、北海道教育大学、北見工業大学ほか私大・短大・看護学校及び専門学校などです。

イ 就職指導

外部講師による講演や、ソーシャルスキルトレーニングを意識した指導等により、基礎力と実力の養成をはかっています。八幡平市をはじめ、近隣の盛岡市、滝沢市等の企業を中心に、高い就

職率を達成しています。

5 校長から一言

平成30年に学校創立70周年を迎えた本校の校訓は「開拓者精神」です。それは、『仲間と協力・切磋琢磨しながら粘り強く努力を重ね、自分の可能性を新たに切り拓こうとする強い気持ち』と言い換えることもできるでしょう。長く受け継がれたこの校訓の理念の実現に向けた本校における3年間は、自分の新たな可能性や適性に気付き、能力を最大限まで伸ばし、将来の可能性を広げ、長く続く今後の人生を豊かにする土台を築く期間です。

このホームページに掲載されている校報「平高の窓」をご覧ください。そこからは、本校の生徒たちが魅力的な様々な活動に意欲的に取り組み、生き生きとした表情で充実した毎日を過ごし、確かな力を自分の中に培っていることを感じていただけたと思います。

P T Aや同窓会はもとより、地域の方々からの協力も絶大です。その恵まれた温かい環境の中で、生徒一人ひとりを大切にした教育を実践している学校、それが平館高校です。

現代のグローバル社会を生き抜く意欲・実力・社会性、人間として望ましい強さ・優しさ・倫理観、そして郷土愛。それらを兼ね備えた新しい自分に出会うために、一人でも多くの皆さんがこの紫薫の丘に集うことを、心から期待しています。

6 必要となる諸経費の概要

高校においては教科書や副教材、諸会費等の費用がかかります。

(1) 「入学手続き」等、3月中に必要な費用のめど

- ア 入学料用岩手県収入証紙 5,650円
- イ 入学時徴収金(各種入会金・諸行事参加費) 26,000円
- ウ 指定運動着 8,630円 ・ 指定シューズ(2種) 7,800円
- エ 教科書 7,000円～8,000円(選択科目による。辞書代別途)
- オ 制服

男子冬服 38,000円～42,000円 女子冬服 43,000円～46,000円程度

(2) 毎月納める費用

- 授業料 月額 9,900円
- 諸会費 月額 8,000円(P T A・生徒会諸会費、4月～1月)

(3) 学年一括徴収金(副教材、実習費用等)

- 普通科 60,000円程度(6・9月に分括納入、一括も可能)
- 家政科学科 70,000円程度(6・9・10月に分納、一括も可能)

(4) 修学旅行の積立

自主研修費用を含めて90,000円程度です。一括納入、または1年次8月～2年次10月の期間内に分納。

(5) その他必要な経費

各部で、部費として毎月徴収するもの、ユニフォーム代金など一括納入していただくものがあり他、通学に係る費用や、希望で受ける模擬試験や検定などの費用があります。

7 授業料無償制見直しに関する県教育委員会からのお知らせ

- (1) 平成26年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- (2) この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- (3) 一定の所得未満とは、保護者の県民税・市町村民税所得割額の合算が50万7000円未満です。
- (4) 手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】 県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額） 9,900 円 定時制（月額） 2,700 円 通信制（1単位） 190 円